

研究・イノベーション学会 第37回シンポジウム 「経済安全保障と科学技術イノベーションの両立へ」

(研究・イノベーション学会員以外の方も是非ご参加ください)

社会はグローバル化と共に多極化が進み、経済活動においては異なる陣営間での物資の流通が制約を受けたり、その制限を戦略的優位性に活用する動きがあり、安全保障の枠組みにおいても経済的制裁の活用が実際に行われている状況となりました。このように近年明らかとなった経済と安全保障の接近に立ち向かうため、経済安全保障法が成立され、研究組織、産業界及び国民は体制整備を急務としています。経済安全保障は企業活動や研究活動に大きな影響を及ぼすことから、ステークホルダー間での密な議論に基づきその実質化に向けた幅広い取り組みが求められるでしょう。

そこで、本年度は経済安全保障に対応するための課題やその展望についての討議を広く行う場を設けることとしました。

研究・イノベーション学会の学会員以外の方も参加をお待ちしております。



2022年

8月16日 火 18:00-20:00

※接続先は申込時に記入の電子メールアドレス宛にお送りします

プログラム

司会者 矢吹 命大 (横浜国立大学大学戦略情報分析室 准教授、研究・イノベーション学会 会員)

18:00~18:05 主催者挨拶
犬塚 隆志 (シンポジウム実行委員長、研究・イノベーション学会 会員)

18:05~19:55 パネルディスカッション
経済安全保障と科学技術イノベーションの両立へ

【登壇者 (敬称略・五十音順)】

大野 敬太郎 (衆議院議員)

齊藤 孝祐 (上智大学総合グローバル学部 准教授)

モデレーター 角南 篤 (公益財団法人笹川平和財団 理事長)

田中 武久 (株式会社パナソニック総研 主幹研究員)

土屋 貴裕 (京都先端科学大学経済経営学部 准教授)

渡辺 哲也 (経済産業研究所 副所長、東京大学公共政策大学院 客員教授)

19:55~20:00 閉会の言葉
菊池 純一 (青山学院大学 名誉教授、研究・イノベーション学会 会長)

お申込み
お問い合わせ

研究・イノベーション学会 TEL : 03-5620-0577
参加申込みフォーム : <https://forms.gle/sXmH4mQRLrh6U7Zb6>
申込み期限 : 2022年8月15日 正午



登壇者プロフィール（敬称略・五十音順）

大野 敬太郎



衆議院議員

1968年11月1日生まれ。東京工大卒・同大院修士修了・東京大学博士号取得。富士通研究所・米国カリフォルニア大学バークレー校客員フェロー・国務大臣秘書官・東京大学産学官連携研究員などを経て、第46回総選挙で初当選。防衛大臣政務官、党副幹事長などを経て、内閣府副大臣（経済安全保障・防災等担当）を務めた。

齊藤 孝祐



上智大学総合グローバル学部 准教授

筑波大学大学院人文社会科学部国際政治経済学専攻修了、博士（国際政治経済学）。専門は国際政治学、安全保障論、科学技術、イノベーション。著書に『軍備の政治学』（白桃書房、2017年）、「デュアルユースの政治論—科学研究と安全保障はいかに向き合うか—」（『安全保障の位相角』法律文化社、2018年）、「米国におけるAI戦略の展開とコンセンサス形成の課題」（『軍縮研究』11巻1号、2022年）など。

角南 篤



公益財団法人笹川平和財団 理事長

公益財団法人笹川平和財団理事長。政策研究大学院大学学長特別補佐・客員教授。内閣府参与（科学技術・イノベーション政策担当）等を経て、内閣官房、内閣府、文部科学省、外務省などの有識者委員を務める。専門は科学技術イノベーション政策。ジョージタウン大学School of Foreign Service卒業。コロンビア大学国際関係学修士、同大学政治学博士号（Ph.D.）取得。

田中 武久



株式会社パナソニック総研 主幹研究員

1987年に松下技研株式会社に入社。ニューラルネットワーク、画像処理・認識の研究開発に従事した後、2000年からは、松下電器/パナソニック株式会社にて、経営企画、システム系開発部門の開発部長、全社技術戦略策定・推進、マレーシア研究所所長などを担当。現在は、2021年4月に新設の株式会社パナソニック総研に出向し、経済安全保障、環境問題などの調査・分析に従事。IEEE、映像情報メディア学会、研究・イノベーション学会会員。

土屋 貴裕



京都先端科学大学経済経営学部 准教授

慶應義塾大学環境情報学部環境情報学科卒業。一橋大学大学院経済学研究科修了。防衛大学校総合安全保障研究科後期課程卒業。博士（安全保障学）。外務省国際情報統括官組織第二国際情報官室専門分析員、在香港日本国総領事館専門調査員などを経て現職。専門は公共経済学、国際政治経済学、安全保障論など。近著に『米中の経済安全保障戦略：新興技術をめぐる新たな競争』（共著、芙蓉書房出版、2021年）などがある。

渡辺 哲也



経済産業研究所（RIETI）副所長、東京大学公共政策大学院 客員教授

経済産業省通商機構部長、内閣官房TPP政府対策本部参事官を歴任、通商政策や国際交渉の第一線に携わる。現在はRIETI副所長として「グローバル・インテリジェンス・プロジェクト」をリード、経済安全保障、気候変動、デジタル経済、スタートアップ、中国経済などの情報収集・分析や政策提言を推進。チャタムハウス等が開催する「グローバル・トレード・シリーズ」のレギュラーメンバーである他、英アジアハウス、欧州ブリュッセル、独外交問題評議会などのシンポジウムに登壇、激動する国際情勢と日本の役割について発信を続ける。

